

「令和元年度 第7回大月みらい協議会」

議 事 概 要

日 時 令和2年2月6日（木）午後7時から午後9時まで

場 所 大月短期大学 会議室

出席者 委員16名（欠席6名）

委員 小俣理美、小林聡、三枝良光、佐藤總明、志村淳、庄司有紀
白川恵子、白川太、鈴木龍子、中島啓介、福嶋尚美、三木範之
三富聖久、矢光重敏、山口隆太郎、武者稚枝子
（※敬称略）

【事務局】 井上企画財政課長、久保井リーダー、堀内、後藤

1. 小俣議長あいさつ

皆様こんばんは。本年もよろしくお願ひいたします。

昨今、コロナウィルスが流行っていますが、お体の具合はどうでしょうか。免疫を高めて、風邪を引かないように気を付けてください。

実は今月、別の会議がありまして、大月市の令和2年4月の高齢化率の予想が39.5%だそうです。昨年9月の全国平均が28.4%で、大月市は全国平均よりも約10%高い数値となっております。35.9%という数字は減少するとは思いますが、人口を増やすというよりは人口を維持していくということで、みらい協議会の皆様のお力を借りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

2. 議事

（1）令和元年度第6回会議概要について

- 会議概要を市ホームページへ掲載することについて審議を行い、市ホームページへ掲載することについて承認されました。

（2）大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略に伴う施策提案書評価取りまとめの結果について

- 地方創生に係る国の交付金【地方創生推進交付金】を活用して取り組んだ事業については、委員の皆様からいただいた意見についてはすべて市へ提案し、評価の部分については、前回会議で議長に一任することが承認されていることから、小俣議長より、「大月市総合戦略のKPI達成に有効であったと評価する」旨の報告がありました。
- 第2期総合戦略に盛り込む施策提案書を委員の皆様にご評価いただき、その結果、7つの提案書を市に提出することとなりました。

(3) 暫定グループ会議

- グループのメンバーは、昨年まで「暫定」の形となっており、今回の会議でグループのメンバーが確定しました。

また、「新テーマ（情報発信）」と、「ふるさと教育」との位置付けについて確認が行われ、Aグループ、Cグループ、Dグループという呼び方や表記は廃止し、グループ名及びグループリーダーを決めることとなりました。

- その後、グループごとに分かれて、会議が行われ、代表者から内容について報告がありました。

【グループ名】

旧Aグループ → JOBグループ リーダー：白川太委員

(※ジュニア・オオツキ・ビギニング 英語でジョブ (=働く))

旧Cグループ → 未定 リーダー：矢光重敏委員

旧Dグループ → 情報発信グループ リーダー：中島啓介委員

< Aグループ（職場体験事業） >

【白川太委員】

Aグループの報告をさせていただきます。

まずは、新たなグループ名は「JOB」グループとしました。「Junior（ジュニア）・Otsuki（オオツキ）・Beginning（ビギニング）」の頭文字を取りました。「JOB」をそのまま読めば「ジョブ」という意味にもなるため、このように名付けました。

リーダーについては、私白川が引き続き務めることとなりました。

今後取り組んでいくことをわかりやすく、そして、中学生目線になった活動をしていきたいと考えまして、目標は「やるじゃん、大月」と設定しました。これは、子どもたちに「やるじゃん、大月」と思わせるような活動をしていくということで考えました。

これからの活動ですが、大月東中学校にて職場体験を行いました。4月以降は猿橋中学校での職場体験などがあります。ただ、「職場体験」にこだわるわけではなくて、色々なイベントをしていきたいと思っております。例えば、企業のPRをするイベントを市民会館で行い、その後に子どもたちに大月を考える討論会で「やるじゃん、大月」をテーマに行うとか、富士吉田市で行われた座談会を例にとりますと、若手の社会人が子どもたちと一緒に車座になって仕事の話し合いをしたりという様々なアイデアが出ました。「職場体験」にこだわるわけではなくて、子どもたちに大月にある事業所の良さを教えられるような取り組みをしていきたいと思えます。

それから皆様にいつもお願いしていることですが、賛同する企業を増やそうとしています。その中では、商工会の久嶋委員から理事の方たちに働きかけをしていただいております。個別に賛同企業を増やしていく働きかけをしていきます。ぜひ、皆様でお知り合いの企業があ

ればご紹介いただきたいと思います。

それと、Dグループにお願いですが、賛同企業を募っていることと、グループの活動をとにかく広めていただいて知っていただければ、我々の活動や賛同企業になっていただける際の説明が大変楽になりますので、ぜひこれについてはお願いしたいです。

最後にご提案ですが、キャリア教育を各市町村で行っている「ブロッサム」という団体が、鈴木委員の紹介でみらい協議会の活動に賛同いただいたようで、大月まで出向いていただき活動内容を説明したいとのことでした。職場体験を行っている旧Aグループだけではなくて、皆様にも説明を聞いていただいた方が役に立つのではないかと思います。

事務局の方から、日程等をご連絡していただくとことになっておりますので、ぜひ皆様で出席できる方は連絡をいただきたいとも思います。

< Cグループ（学童クラブ事業） >

【矢光委員】

旧Cグループの報告をさせていただきます。リーダーは矢光が務めます。よろしくお願ひします。

グループ名ですが、まだ決まっておりません。今後早急に決定をしたいと思います。

今までこのグループは各学校の学童クラブに対するイベントを継続して行ってきたのですが、それに加えて学童クラブや子どもたちのために地域の支援の輪を広げる形を取りたいと考えています。

イベントを通じて色々な方たちに協力をいただくだけではなく、他の団体と協議をさせていただいて、子どもたちのために活動していただける方を探すような活動をしたいと思っております。

今までのイベントについては引き続き行っていくことになりました。

先ほど、JOBグループからお話があったように、我々としてもDグループにお願いしたい部分ですが、「このようなイベントを行っており様々な方の協力を得ながら活動している」というような発信をしていただけたらと思います。欲を言えば、2～3分ほどの動画を作成してほしいと思います。それで「イイネ」を多くもらいたいです。この辺の検討もしていただきたいと思います。

< Dグループ（情報発信事業） >

【中島委員】

旧Dグループのグループ名は「情報発信」グループです。

ICTの時代ではありますけれども、ネット環境などに不慣れな方もいらっしゃいますので、分りやすいのが一番でこのグループ名を名付けました。

リーダーについては、私中島が引き続き務めさせていただきます。

2月号の広報で大月市立図書館の仁科館長を「大月仕事人」の記事を掲載いたしました。

また、3月号には大月市立短期大学の柳沢学長を掲載する予定であります。来年度も「大月仕事人」を継続していくこととなりました。

あとは、情報発信の部分ですけれども、現在話し合っているところで細かい説明は割愛しますが、JOBグループと旧Cグループと連携を取りつつ、活動の際には現場へ赴き、我々も情報収集にも努めることとなりました。また、他のグループからいただきたい情報もあります。これまで蓄積してきたグループの情報やJOBグループだと「夢カード」なども提供してもらって、ウェブ媒体として掲載することも考えています。

さらに、これまで旧Dグループで行ってきた「大月仕事人」の情報も掲載していきたいと思えます。大月市の広報担当の協力を得ながら進めていきたいと思えます。

大月みらい協議会の活動を発表するホームページのタイトルを決定するのが難航しています。是非皆さんのお知恵を拝借したいと考えています。次回会議の時にでも構いませんので、良いアイデアがあれば事務局の方に伝えていただければと思えます。

改めてですが、我々の活動をインターネットで発信するウェブサイトのタイトル名を募りたいです。誰からもアイデアをいただけない場合、「大月みらい協議会のホームページ」というようなタイトルになります。

以上です。

(4) その他

- 次回定例会の日程は、議長、副議長と日程調整をさせていただき、委員の皆様にはメール及び郵送にて次回のご案内をさせていただきます。よろしくお願いいたします。